

◆原発再稼働に慎重な対応を求める署名をした主な民主党議員

野田首相を批判 中間 首相を支持	小沢グループ  小沢一郎 元代表 山田正彦元農相 東祥三元内閣府副大臣 鈴木克昌衆院議員ら 約60人	鳩山グループ  鳩山元首相 川内博史衆院議員ら
	羽田グループ 羽田元首相ら	グループに属さず  渡部恒三 最高顧問 馬淵澄夫元国土交通相ら
	菅前首相グループ  江田五月 最高顧問 荒井聡党原発事故収束対策PT座長ら 約15人	前原政調会長グループ 福山哲郎前官房副長官ら
	計117人 = 衆院81人、参院36人	

民主、再稼働も統制とれず

首相支持派などに慎重論拡大

政府が近く最終判断する関西電力大飯原子力発電所3、4号機(福井県おおい町)の再稼働に対し、民主党内で慎重論が勢いを増している。野田首相を支持する議員や中間派の一部、小沢一郎元代表グループの議員らが連携しており、消費増税や環太平洋経済連携協

定(TPP)などとともに、重要政策で党内の統制が取れない現状を露呈している。党原発事故収束対策プロジェクトチーム(PT)座長の荒井聡・元国家戦略相ら5日、斎藤勁官房副長官に対し、慎重な判断を求める文書を同党議員17

人の連名で提出した。署名に応じたのは、小沢氏や鳩山元首相ら首相に批判的な議員が中心だが、渡部恒三党最高顧問、江田五月党最高顧問(菅前首相グループ)、福山哲郎前官房副長官(前原政調会長グループ)ら首相に近いグループの議員も含まれた。荒井

氏も菅グループで、昨年の代表選では首相を支持した。荒井氏は6日、記者団に「国会事故調査委員会による原因究明を待つなどの条件を満たせば認めると言っているにもかかわらず、再稼働を急ぐことに反対だ」と語った。署名を募ったの申し入れは「倒閣運動ではない」と説明するが、菅グループ内には「小沢グループの政権揺さぶりに利用される」と懸念の声がある。

実際、小沢グループは再稼働問題で活発に動く構えだ。小沢氏が会長を務める「新しい政策研究会」は再稼働慎重の立場で近く提言をまとめる考えで、「消費増税、再稼働で反対する中間派をとりこみたい」(グループ中堅)ともくろむ。

首相は夏の電力危機を回避するため、再稼働で譲歩できない立場だが、守勢に回った苦しさもある。藤村

官房長官は6日の記者会見で「再稼働は政府が最終的に判断し、決定することだ。それ以上のことは言わない」と述べることとなった。